

重篤副作用疾患別対応マニュアル改定・新規作成の進捗について

1. マニュアルの作成・改定状況について

作成・改定状況は以下のとおり。令和元年度は改定スケジュール「C」について着手し、「D」についても着手予定。

改定スケジュール	区分	総数	作成終了	着手	未着手
平成 28 年度着手	改定	2	2	0	0
A：平成 29 年度着手予定	改定	12	11	1	0
	新規	2	2	0	0
B：平成 30 年度以降着手予定 (優先度高)	改定	22	11	11	0
	新規	6	0	0	6
C：平成 30 年度以降着手予定 (優先度中)	改定	15	0	0	15
D：時点修正	改定	23	0	0	23

2. 平成 30 年度のマニュアル改定について

- 第 10 回検討会（平成 30 年 5 月 31 日開催）にて、平成 30 年度に「着手予定」又は「継続」としたマニュアルについて、各学会において、以下のとおりマニュアル改定の検討を行った。

作成学会	資料番号	マニュアル名	区分
日本肝臓学会	2-1	薬物性肝障害	改定
日本呼吸器学会	2-2	間質性肺炎	改定
日本循環器学会	2-3	うっ血性心不全	改定
日本小児神経学会	2-4	小児の急性脳症	改定
日本アレルギー学会	2-5	アナフィラキシー	改定
	2-6	血管性浮腫・喉頭浮腫 (非ステロイド性抗炎症薬によらないもの)	改定 (2つのマニュアルを統合)
	2-7	非ステロイド性抗炎症薬による蕁麻疹／血管性浮腫	改定
日本眼科学会	2-8	網膜・視路障害	改定 (新規提案分を含む)

	2-9	緑内障	改定
	2-10	角膜混濁	改定
日本癌治療学会	2-11	手足症候群	改定
日本皮膚科学会			
日本臨床腫瘍学会			

○ その他、検討継続中のマニュアルは以下のとおりである。

作成学会	マニュアル名	区分
日本血液学会	再生不良性貧血（平成 30 年度より）	改定
	出血傾向（平成 30 年度より）	改定
	薬剤性貧血（平成 30 年度より）	改定
	無顆粒球症（平成 30 年度より）	改定
	血小板減少症（平成 30 年度より）	改定
	血栓症（平成 30 年度より）	改定
	播種性血管内凝固（平成 30 年度より）	改定
	血栓性血小板減少性紫斑病（平成 30 年度より）	改定
日本神経学会	ヘパリン起因性血小板減少症（平成 30 年度より）	改定
	薬剤性パーキンソニズム（平成 30 年度より）	改定
日本小児科学会	ジスキネジア（平成 30 年度より）	改定
	新生児薬物離脱症候群（平成 29 年度より）	改定

○ 各分野の総論については以下のとおりである。なお、これまでに学会での検討が終了しているのは神経・筋骨格系領域のみであるが、総論はすべて新規に作成するものであることから、学会での検討が終了した総論が複数になったのちに、検討会において取り扱う予定。

作成学会	マニュアル名	区分
日本腎臓学会	腎臓領域（平成 29 年度より）	継続
日本血液学会	免疫チェックポイント阻害剤（平成 29 年度より）	継続
日本神経学会	神経・筋骨格系領域	学会での 検討終了